

# 事業実績報告書

平成24年度

学校法人 明浄学院

# 学校法人明浄学院

## 平成24年度事業実績報告書

### 法人の概要

#### 建学の精神

『明(あか)く、浄(きよ)く、直(なお)く』の精神に則り、豊かな心と深い教養を備え、知性に輝く有為の人材の育成

#### 主な沿革

- 1921.4 大阪府大阪市阿倍野区に「明浄高等女学校」を開校。
- 1947.4 「明浄学院中学校」設置。
- 1948.4 「明浄学院高等学校」設置。
- 1985.4 大阪府泉南郡熊取町に「大阪明浄女子短期大学(英語科)」開学。
- 1989.4 同短期大学に文芸科を増設。
- 2000.4 短期大学と共用敷地に「大阪明浄大学(観光学部・観光学科)」開学。男女共学。
- 2003.4 短期大学2004年度以降の入学生募集停止。
- 2004.4 主たる事務所を大学所在地に移転。
- 2004.9 明浄学院中学校廃止認可。
- 2006.4 「大阪観光大学」に大学名称変更。
- 2009.8 大阪明浄女子短期大学廃止認可。
- 2010.4 大阪観光大学に教職課程設置。
- 2013.4 大阪観光大学に国際交流学部を増設。

#### 設置する学校 (H. 25. 4. 1)

- 大阪観光大学 観光学部・観光学科  
国際交流学部・国際交流学科
- 明浄学院高等学校 全日制・普通科

#### 学生・生徒数 (H. 25. 5. 1)

	入学定員	編入学定員	収容定員	志願者	合格者	入学者	1年	2年	3年	4年	合計
観光学部	130	20	740	147	134	105	105	123	97	140	465
国際交流学部	60	-	60	8	7	6	6	-	-	-	6
高等学校	265	-	760	366	363	183	183	242	212	-	637
計	455	20	1,525	521	504	294	294	365	309	140	1,108

高等学校は定員に替え募集人員。志願者・合格者に編入学は含まない。

#### 教職員数 (H. 25. 5. 1) (契約教職員を含む専任)

	教育職員	事務職員等	計
大 学	30	22	52
高等学校	41	4	45
法 人	1	2	3
計	72	28	100

法人の教育職員は学院教育支援センター員をいう。

役員等数 (H. 25. 5. 1)

	定数	現員
理事	9～12	12
監事	2	2
評議員	25～28	25

常勤の役員

理事長	三上貴彦	大学学長
理事	赤木 攻	大学副学長・国際交流学部長・教授
理事	中尾 清	大学観光学部教授
理事	小南嘉則	大学事務局長
理事	瑠東東治	高等学校校長
理事	渡邊雅彦	高等学校教頭
理事	富永晶雄	法人本部長

非常勤の役員

理事	堀 弘二	
理事	田浦 清	
理事	難波伸太郎	理事長職務代行
理事	福本幸子	
理事	伊藤 武	
監事	中山俊治	
監事	見鳥信吉	

校地・校舎 (H. 25. 3. 31)

区分	大阪観光大学			明浄学院高等学校			法人総計		
	大阪府泉南郡熊取町大久保南 5-3-1			大阪府大阪市阿倍野区文の里 3-15-7					
	専用	共用	計	専用	共用	計			
校地	45,419.17m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	45,419.17m <sup>2</sup>	13,701.50m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	13,701.50m <sup>2</sup>	59,120.67m <sup>2</sup>		
校舎	16,493.42m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	16,493.42m <sup>2</sup>	12,558.00m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	12,558.00m <sup>2</sup>	29,051.42m <sup>2</sup>		
図書館	蔵書総数	90,214	座席数	166	蔵書総数	30,191	座席数	64	120,405冊

(校地・校舎等は、すべて学校法人自己所有。蔵書には視聴覚資料等を含む。)

卒業生数等 (H. 25. 3. 31)

学 校	平成 24 年度	卒業生総数
大阪観光大学	119	1,438
明浄学院高等学校	146	35,932
大阪明浄女子短期大学	—	5,427
総 計		42,797

高等学校には、明浄高等女学校卒業の 3,868 名を含む。

大学卒業生への授与学位は、学士(観光学)。卒業生数と学位授与数は同数である。

過去の大学卒業生の就職率は次の通り。

卒業	平成 20 年 3 月	平成 21 年 3 月	平成 22 年 3 月	平成 23 年 3 月	平成 24 年 3 月
就職率	95.7%	92.8%	90.5%	91.7%	92.9%

# 平成 24 年度大阪観光大学事業実績

- 目 標： 昨年度、日本私立学校振興・共済事業団の協力を受け新たな経営改善 5 カ年計画を策定し観光教育・研究をより充実すべく、観光関連の人材育成の強化を図る。また、地元自治体や他大学との連携・協力を図りつつ、全国唯一の観光大学としての役割を果たし、その評価を確立することを目標とする。加えて、日本私立学校振興・共済事業団により採択されている「未来経営戦略推進経費補助」を活用し大学経営の安定化の方策を図る。また、今年度には、新学部「国際交流学部」の設置認可申請を行い、平成 25 年度開設を目指す。
- 「未来経営戦略推進経費補助」(5 年間の 4 年目)を活用し、大学経営の活性化を図った。
- 「国際交流学部」の設置認可を受け、大学の教育や経営の多角化を図ることとなった。
- 施 策： 今年度実施内容および目標
- 項目 1 大阪観光大学の周知を図り、PR 活動、学生募集を強化する。
- (1) 学校訪問や相談会への出席等を強化する等、本学をアピールすることにより入学者増を図る。
- 1000 校以上の高校訪問等の実施や相談会 195 カ所への参加。
- (2) 「国際交流学部」の設置認可申請を行い、新たな分野からの入学生確保を目標とする。
- 文部科学省に設置認可申請を行い設置認可を受けた。但し、認可時期が通常より大幅に遅延したこともあり、入学定員確保には至らなかった。
- (3) セメスター制を活かし、後期入学制度(10 月)の充実を図る。
- 後期入学者は確保できなかった。
- (4) 国の留学生 30 万人計画発足にも留意し、優秀な留学生確保を行う。
- 留学生 49 人(16 人は編入学)の入学者を得た。
- (5) 「大学コンソーシアム大阪」主催の高校生のための「大学フェア」に参加し(7 月)、広報宣伝活動を行う。
- フェアに参加し模擬授業等を実施し、本学の PR 活動を図った。
- 項目 2 「国際交流学部」の設置認可申請を行い、積極的な広報により新たな分野からの入学生確保を目指し、拠って学生確保に繋げ経営の安定化を図る。
- 設置認可を受け学生募集活動を行ったが、認可遅れのため、募集活動が十分ではなく、定員確保はできなかった。
- 項目 3 初年次教育及び導入教育さらにはキャリア教育の重要性を鑑み、重点施策とする。
- また、FD については、授業評価を改善し一層の充実を行い、コース制を含むカリキュラムの見直しを行う。
- 上記内容を含んだカリキュラム改正を行い、平成 25 年 4 月 1 日に施行した。
- 項目 4 観光学分野の科研費獲得を目指すとともに、観光学の研究を支援するための共同研究費制度を活用し、観光学研究の充実を図る。
- 科研費は継続 1 件、新規採用が 1 件の計 2 件が実績となった。
- 項目 5 高等学校(地理歴史、商業)・中学校(社会)の教職課程の完成年度を目前に、より一層の充実を図り、将来の観光学教育の発展に資する。
- 4 年目の教育実習や免許取得に向けた地盤固めを行った。
- 項目 6 国際交流センターを活用し、留学生の日本語教育や生活指導の充実を図る。また、国際交流センターを通してさらなる外国大学等との協定・交流する。
- 日本語教育や生活指導を重点とした留学生指導を行った。また、韓国「大同大学校」、豪「グリフィス大学」との間で新たに交流協定を締結した。
- 今年度は従来からの協定校の韓国「新羅大学校」から 3 人、上記大同大学校から 5 人の短期留学生を迎えた。
- 派遣留学としては、ハワイパシフィック大学(米国)へ 3 人、アイルランド・エメラルド・カルチャラル・インスティテュート(アイルランド)、カレッジ・オブ・カナダ(加)へ各々 1 人の計 5 人となった。
- 項目 7 国際交流については、一層の強化を図り、今年度も積極的に留学生を受け入れる。
- 受入れ 5 カ国(中・韓・台湾・ベトナム・タイ)50 名予定(うち 15 名は編入学)
- 5 カ国(中・韓・台湾・ベトナム・タイ)49 名(うち 16 名は編入学)を受け入れた。

- 項目 8 社会人講座の開講について積極的に対応を図る。今年度も、社団法人「大阪外食産業協会」の協力により「外食産業論」及び「レストラン経営論」（経営者による講義を含む）を本学で正課として開講し、広く社会人にも公開する。  
→本学学生に加え、一般社会人にも開放した。
- 項目 9 「大学コンソーシアム大阪」と単位互換事業に協力し、大阪市内で「大阪観光学」を開講し他大学の学生や一般市民に講義を開放する。また、本学校舎においても、正課 6 科目（温泉地理学、観光地理学、地方自治観光政策論、都市観光論、外食産業論、レストラン経営論）を他大学の学生に開放する。  
→センター科目として、「大阪観光学」（44人）に加え「温泉学」（106人）を開講、オンサイト（本学内開講）科目として「都市観光論」を開講し受講者が1人あった。
- 項目 10 地域との連携は、周辺市町さらには大阪府との関係、また、「大学コンソーシアム大阪」や「南大阪地域大学コンソーシアム」という地域大学連携組織との関係をも深め、一層の拡充を図る。「大学コンソーシアム大阪」との連携の社会人講座充実は前述項目 9 参照。また、堺市観光ボランティア協会と連携し、地域の観光振興に寄与する。特に、泉州 13 市町との連携事業である「泉州 RUSH プロジェクト」を推進する。  
→計画通り、コンソーシアムやボランティア協会との連携活動を行った。また、泉州 RUSH プロジェクトも事業を完遂した。
- 項目 11 科目等履修生を社会人に対して積極的に募集する。（予定開講科目 6 2 科目）  
また、社会人の正規学生としての受け入れを検討する。  
→6 2 科目開講科目に 4 人が受講したが、正規学生を迎えることはできなかった。
- 項目 12 キャリアアップ講座として、通関士講座、英会話講座、貿易実務講座、販売士講座を開講し、一部社会人にも公開する。（昨年度 4 講座 74 人）  
→英会話講座のみ開講で 25 人受講。
- 項目 13 総合旅行業務取扱管理者、国内旅行業務取扱管理者の合格率向上を図る。  
→前者で 2 人、後方で 7 人の合格者を出した。
- 項目 14 バリアフリーの推進を積極的に行う。  
→今年などのバリアフリー工事として、コリドール棟 1 階の段差部のスロープ化並びに体育館入口及びアリーナ入口を実施。
- 項目 15 校舎や施設設備の経年劣化にが目立つことから、計画的にその補修を進めていく。  
→第 1 教室棟及び体育館屋根の簡易補修を実施。
- 項目 16 大学生活の充実を図るため、クラブ活動の活性化を図る。  
→野球部を創設し大学の活性化を図った。特に、年度中に近畿学生野球連盟に加盟し、次年度からリーグ戦に参戦することができた。  
また、次年度に発足させる吹奏楽部の設置準備を行った。

# 平成 24 年度明浄学院高等学校事業実績

平成 24 年度の高等学校の事業実績は次の通り。

## 1、生徒募集の強化

平成 24 年度入学生の入学者数は 250 名を数え、3 学年総計 617 名となり在籍生徒数 600 名越えは平成 17 年度以来 8 年振りである。

3 ヶ年の目標は、教職員一丸となり達成できたと自負するところである。

## 2、教育内容の充実

平成 24 年度も「躰・和心・グローバル」を行動指針とし、2 年連続六回目の宮中歌会始の秀歌に選ばれるなど、伝統教育の力を遺憾なく発揮することができた。

グローバル面では、台湾・彰化高級中学で開催される世界の高校生による国際会議に 4 年連続で日本代表に選抜され、世界の高校生に伍して堂々と討論を交わしたところであり、今回もアフリカの孤児のために、参加者全員が連日托鉢行を行い寺院に宿泊しながらの討論であり、より一層参加者全員の親交が深まった。

海外高校との提携では、豪州マリスタ女子高校に加え韓国・密陽女子高校とも協定し、相互の短期留学を実施することができた。

ユネスコスクール関連では、日韓中高校生フォーラムで本校生徒が総合司会など多岐に亘って活躍をした。

平成 25 年度からはじまる新学習指導要領施行に併せ本校教育課程を全面的に改訂した。特徴的には 5 教科 7 科目のセンター入試に対応できる科目を増設し、理科系受験も可能なようにし、国際理解教育の充実を期し外国語に韓国語、中国語を加えた。伝統教育の分野では茶道、華道を学校設定科目とし躰教育の強化を計る。

## 3、進路実績

特筆すべきは普通コースから関西大学法学部に合格。

詳細は別紙の通り。

以上

## 平成24年度卒業生進路状況

### ①大学

学校名	学部名	学科名	合格人数
関西大学	法		1
立命館大学	文		1
近畿大学	経営		1
	法	法律	1
龍谷大学	文		1
関西外国語大学	外国語	英米語	3
	国際言語	国際言語コミュニケーション	1
同志社女子大学	学芸	音楽	1
千里金蘭大学	看護	看護	1
学習院女子大学	国際文化交流	英語コミュニケーション	1
京都外国語大学	外国語	ブラジルポルトガル語	1
畿央大学	教育	現代教育	1
長浜バイオ大学	バイオサイエンス	バイオサイエンス	1
大阪青山大学	健康科学	健康栄養	1
大阪大谷大学	人間社会	スポーツ健康	1
		健康スポーツ	1
大阪学院大学	外国語		1
	経営	ホスピタリティ経営	1
大阪河崎リハビリテーション大学	リハビリテーション	リハビリテーション	2
大阪芸術大学	芸術	キャラクター造形	1
大阪国際大学	人間科学	スポーツ行動	2
大阪成蹊大学	芸術	環境デザイン	1
大阪体育大学	健康福祉	健康福祉	1
大阪保健医療大学	保健医療	リハビリテーション	1
関西福祉科学大学	社会福祉	社会福祉	1
四天王寺大学	人文社会	日本	2
		社会	1
相愛大学	人文	人文	1
帝塚山学院大学	リベラルアーツ	リベラルアーツ	2
梅花女子大学	食文化	食文化	1
	文化表現	国際英語	1
阪南大学	経済	経済	1
	国際コミュニケーション	国際コミュニケーション	2
	流通		1
ブール学院大学	国際文化	こども教育	1
桃山学院大学	経済	経済	1
	法	法律	2
大手前大学	メディア芸術		2
関西国際大学	教育	教育福祉	1
甲南女子大学	文	多文化コミュニケーション	1
宝塚大学	看護	看護	1
帝塚山大学	人文	日本文化	1
		英語コミュニケーション	1
京都ノートルダム女子大学	人間文化	英語英文	1

### ②短期大学

学校名	学科名	合格人数
常磐会短期大学	幼児教育	4
大阪キリスト教短期大学	幼児教育	1
創価女子短期大学	現代ビジネス	1
龍谷大学短期大学部	こども教育	1
関西外国語大学短期大学部	英米語	2
大阪音楽大学短期大学部	音楽	4
大阪芸術大学短期大学部	デザイン美術	1
大阪城南女子短期大学	総合保育	1
大阪信愛女学院短期大学	看護	1
大阪成蹊短期大学	児童教育	1
	総合生活	2
関西女子短期大学	歯科衛生	1
梅花女子大学短期大学部	英語コミュニケーション	1
白鳳女子短期大学	子ども教育	5
	リハビリテーション学	1

### ③看護専門学校

学校名	学科名	合格人数
大阪厚生年金看護専門学校	看護	2
近畿大学附属看護専門学校	看護	1
大阪労災看護専門学校	看護	1
関西医科大学附属看護専門学校	看護	2
行岡医学技術専門学校	看護	1
大阪府医師会看護専門学校	看護	4
南大阪看護専門学校	看護	1
泉州看護専門学校	看護	1
大阪保健福祉専門学校	看護	2
大阪医専	看護	1
兵庫県立柏原看護専門学校	看護	1

### 進路先一覧

(3月19日現在)

大学	短期大学	専修学校	その内 看護学校	就職	その他	卒業生徒数
51	25	46	14	6	18	146

## 平成 24 年度学校法人明浄学院法人本部事業実績

法人本部部門では、次のような事業を推進した。

(理事会・評議員会関係、人事、財務等の常例的業務を除く)

1. 平成 23 年度から 27 年度までの第 3 期中期計画を継続的に執行した。
  - (1) 大学の新学部「国際交流学部」(入学定員 60 名)の設置認可(寄附行為変更認可)を申請して、平成 24 年 12 月に文部科学大臣から認可を受けた。また、既設の「観光学部」については、適正規模の入学定員(130 名)に定員変更した。
  - (2) 大学、高等学校の活性化に資するため、クラブ活動支援のための投資を実施した。
    - ① 大学：野球部創部に向けての支援
    - ② 高等学校：吹奏楽部活動への支援
  - (3) 学院全体としての統一的広報を継続して実施し、学生・生徒募集について側面から支援した。
2. 国際交流学部設置に向けて、大学の組織変更を含め、諸規程を整備した。
3. 学校法人天王寺学館との連携基本協定に基づき、両法人間の協議会を設置した。教育機関としての補完的・互恵的連携について協議を継続している。